

電気式生ごみ処理機（電気を使用して生ごみを減量・堆肥化する機械）

《処理手順》



機器設置。

乾燥式の電気式生ごみ処理機は屋内設置、バイオ式は屋外の写真は乾燥式)



よく水切りした生ごみを入れ、蓋をして電源を入れる。

大きな物は細かくしてから入れると処理が早い。

説明書に記入してある「処理できない物」は故障の原因になるので入れない。



何度か続けて生ごみを処理し、処理物がたまったら取り出す。

乾燥式で処理した物は土と混ぜて1ヶ月程度ねかせてから堆肥として利用する。

《乾燥式とバイオ式のポイント》

種 類	ポ イ ン ト
【乾 燥 式】 温風等の加熱によって水分を蒸発させる	<ul style="list-style-type: none"> ・室内設置できるものが多い ・運転時の音や臭いが気になることもある ・バイオ式に比べ機器がコンパクトな物がある
【バ イ オ 式】 好気性微生物によって分解する	<ul style="list-style-type: none"> ・運転時の音や臭いが気になることもあり屋外設置型が多い ・専用のバイオチップが必要 ・乾燥式に比べ機器が大きな物がある

電気式って「コンポスト」や「ボカシ処理容器」に比べると経費はかかるけど、比較的簡単に処理できるんだね。



ごみ出しも楽になるわ。



メーカーや機種によって違いがあるようだ。自分にあった機種を選ぶことが大切だね。

